

研究協議会にみる 教科「情報」の授業内容

埼玉県高等学校情報教育研究会

発表者 埼玉県立朝霞高等学校 春日井 優

はじめに(埼高情研について)

埼玉県高等学校情報教育研究会 (埼高情研)

あゆみ

- | | |
|-----------|---------------------------------|
| 平成 1 5 年度 | 現行の学習指導要領が始まり各高校において教科「情報」が始まる。 |
| 平成 1 6 年度 | 埼玉県高等学校情報教育研究会設立 |

活動内容

総会・講演会・授業見学会・研究委員会

埼高情研 研究委員会の活動(1)

- 平成16年度 ・ 教科「情報」に関するアンケート調査
- 平成17年度 ・ 普通教科「情報」における実習課題調査
- 平成18年度 ・ 教科「情報」に関するアンケート調査

詳しくは 埼高情研のWebからダウンロード
<http://www2.spec.ed.jp/krk/jyoho/>

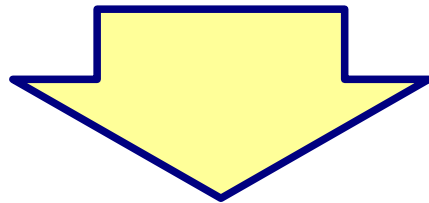
埼高情研 研究委員会の活動(2)

平成19年度

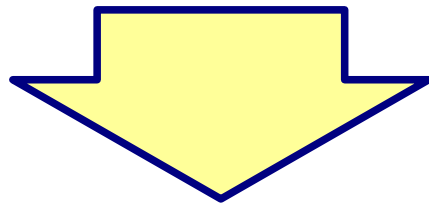
- ・ 研究協議会レポートにみる
教科「情報」の授業内容
(この時間の発表)
- ・ 情報モラルに関する
アンケート調査
(この会場で15:20～)

研究課題の設定

- 情報の教員が1校あたり**1～2名**の学校がほとんど



- 各校の情報の**授業内容**を明らかにし**情報交換**を図る



- 今後の**授業を組み立てる参考**にすることを目的として課題を設定

調査方法

- 平成16年度～18年度にかけてアンケート調査を実施した。
- 回収率60%程度。
- 全数調査を行いたい。
- 県教委主催の教育課程研究協議会には、教科「情報」実施校はレポート提出の上、全校参加する。
- 研究協議会当日、参加者に埼高情研で利用する旨の了承を得る。(レポートの目的外利用で困ると申し出た学校のデータは除外した)

レポートの研究主題

「情報活用の実践力」

「情報の科学的な理解」

「情報社会に参画する態度」の

3つの観点を相互に関連づけて

バランスよく育てるための指導の工夫と実践

についてA4版1枚程度にまとめる。

集計方法

- 東西南北の各地区を1名ずつ分担して、**レポートを読み授業内容を分析**した。
- 普通教科「情報」の**授業内容のデータ数を数え、表にする**。
- 集計項目は共通しそうなものを、ある程度事前に決めておいて、それ以外のものがあれば追加した。
- **参考となるような授業内容や指導法**があれば列記する。

集計方法の具体例

レポートの文章例

- 自分の出身中学校がある地域をインターネットで調べ、その地域を紹介するWebページを作成させた。その際、文章や写真などの著作権を侵害しないように気をつけさせた。

インターネットの検索、Webページの作成、著作権をそれぞれカウントした。

集計項目(1)

- コンピュータの基本操作
PC・OSの操作, キー操作
- インターネットの活用
検索, Webページの作成
- マルチメディア機器の活用
- 問題解決

集計項目(2)

- デジタル化
アナログとデジタル, 情報のデジタル化
- 仕組み
コンピュータ, ネットワーク, メディア
- データベース
- アルゴリズム
- モデル化とシミュレーション
- モラル・エチケット
- 著作権
- 情報社会

集計項目の修正

- 「アプリケーションソフトの活用」を授業内容の集計項目から削除した。
- 「マルチメディアの活用」を機器の活用, ソフトの活用を1つの授業内容として統合した。
- **授業内容**と, **方法・手順を区別する**ために, 「利用しているアプリケーション」を別の集計とした。

集計データを読む上での注意

- 指導の工夫及び実践として書かれたものを集計している。
- 今回の集計は**実施の有無**を質問したのではないことに注意する必要がある。
- 集計した数値が低くても、すぐには実施していないことにはならない。

集計結果(情報A)

- 該当校数 91校のうち
- 授業内容(上位のみ)
 - インターネットの活用(69.2%)
 - モラル・エチケット(58.2%)
- 利用しているアプリケーション
 - ワープロ(62.6%) プレゼン(59.3%)
 - 表計算(54.9%) マルチメディア(13.2%)

集計結果(情報B)

- 該当校数 19校のうち
- 授業内容(上位のみ)
 - インターネットの活用 (73.7%)
 - デジタル化 (52.6%)
 - アルゴリズム (52.6%)
- 利用しているアプリケーション
 - 表計算 (63.2%) ワードプロ (42.1%)
 - プレゼン (26.3%) マルチメディア (21.1%)

集計結果(情報C)

- 該当校数 23校のうち
- 授業内容(上位のみ)
 - インターネットの活用(87.0%)
 - モラル・エチケット(47.8%)
- 利用しているアプリケーション
 - プレゼン(47.8%) ワードプロ(43.5%)
 - 表計算(17.4%) マルチメディア(8.7%)

参考となる授業内容と指導法（抜粋）

- 「職業について」、「起業について」調べ学習を行い発表させる。（インターネットの活用）
- 学校祭の取り組みの様子や自分の写真を入れて中学校向けの「近況報告書」を作らせる。（マルチメディアの活用）
- 著作権についてグループでまとめ、プレゼンテーションソフトで資料を作り発表させる。（著作権）
- 情報化が社会に与える影響について、ディベートを用いて考えさせる。（情報社会）

など、詳細は研究会誌P19～23を参照

考察

- 利用されているソフト

情報A ワードプロ

情報B 表計算

情報C プレゼンテーション が多かった。

- インターネットの活用の割合が全科目で高い。
- モラル・エチケットの割合が全科目で高い。
- アプリケーションの活用に関する記述が多かった
→「**情報活用の実践力**」とは何か再確認が必要